

令和4年度  
事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	05	01	02	154010	就労支援事業費
総合計画	分野	01	しごと	政策	06 雇用環境の充実
	施策	01	職業人材の育成		
目的	雇用の安定のため、若年者や高齢者等の求職者支援を行う。				
対象	求職者、新規学卒者、高齢者、失業者、UIJターン者等の移住者				
意図	就業できる				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ジョブカフェはなまき運営 16,932千円</li> <li>○求職者に対するキャリアカウンセリング、セミナー、講習会等の実施</li> <li>○シルバー人材センター支援 16,639千円</li> <li>○花巻市シルバー人材センター事業補助金</li> <li>○花巻雇用開発協会支援 697千円</li> <li>○花巻雇用開発協会負担金</li> <li>○既学卒者等就業支援 6,368千円</li> <li>○UIJターン者就業奨励金、移住支援金、労働関係実態調査等</li> <li>○離職者等正規雇用促進奨励金 289千円</li> <li>○コロナ禍により雇用の場を失った市民の再就職支援として、正規雇用した市内事業者への奨励金の交付</li> </ul>				
市民参画の有無					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定	後援・協賛
		補助・助成	委託		
活動指標		単位	区分	R03	R04
1	ジョブカフェはなまき新規登録者数	人	計画	220.00	220.00
			実績	216.00	222.00
2	シルバー人材センター受託事業件数	件	計画	5,000.00	5,000.00
			実績	6,061.00	5,876.00
3			計画		
			実績		
成果指標		単位	区分	R03	R04
1	ジョブカフェはなまき新規登録者数に対する就職率	%	目標	45.00	45.00
			実績	49.20	49.70
2	シルバー人材センター会員数	人	目標	700.00	700.00
			実績	717.00	730.00
3	UIJターン者就業奨励金・移住支援金を活用して市内に就職したUIJターン者数	人	目標	14.00	14.00
			実績	5.00	12.00
成果指標の達成度			目標値より高い	概ね目標値どおり	○
					目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
<p>ジョブカフェはなまきの新規登録者数に対する就職率は、マニュアル化された内容ではなく、相談者各々の特性や技能を企業ニーズにマッチングすることで、就職につなげ、目標値を達成できた。シルバー人材センター会員数については、広報へのチラシ差し込みや、HP等を利用した情報発信により目標値を達成できた。UIJターン者就業奨励金、移住支援金については、企業訪問、広報、HP、メールマガジン等で多岐に渡り周知を行ったことにより、前年度より利用者を大きく増加させた。</p>		
目的妥当性	公共関与の妥当性	若年者のみならず、高齢者雇用も市が主体となって雇用拡大に取り組む必要がある。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	求職者に対しPR活動、就職に関する情報等を提供するなど、新規の受託事業の掘り起こし、独自事業の展開を継続することで、雇用拡大につなげて成果の向上を図る。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	必要最小限の事業費で運営しており、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	○ どちらも削減余地がない	
	受益と負担の適正化余地	求職者すべてにおいて利活用可能な事業であるため、適正である。
	受益機会の見直し余地がある	
費用負担の見直し余地がある		
総合評価	○ 適正である	
	今年度の振り返り	ジョブカフェはなまきによる求職者に対するセミナーや、講演会の開催、相談者への親身になった対応により、求職者の雇用機会の確保が図られた。また、シルバー人材センターに対する支援により、高齢者の就業機会の確保が図られた。UIJターン者就業奨励金、移住支援金については、これまでの周知活動により制度がより認知され始め利用が増加した。
次年度に向けて	UIJターン者就業奨励金、移住支援金については、現在深刻な人手不足となっている市内事業者の雇用確保の後押しとなるため、市内事業者に対しても制度・情報の共有を積極的に行っていく必要がある。	

令和4年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	05	01	02	154020	技能人材育成事業費	
総合計画	分野	01	しごと	政策	06 雇用環境の充実	
	施策	01	職業人材の育成			
目的	酒造技術者の育成と技能者の養成のため、南部杜氏協会と花巻職業訓練協会の支援を行う。					
対象	南部杜氏協会の会員、技能職種の職業訓練を必要とする者					
意図	酒造技術が伝承され、技能職種人材の雇用促進が図られる					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○酒造技術者育成支援 762千円 南部杜氏協会が実施する杜氏講習会及び杜氏後継者育成事業に係る事業支援</li> <li>○南部杜氏協会支部支援 155千円 南部杜氏協会（4支部）に対する事業補助</li> <li>○花巻職業訓練協会支援 2,154千円 花巻職業訓練協会が実施する技能職種人材の育成に係る事業支援</li> </ul>					
市民参画の有無	対象外					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	○補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	R03	R04	R05
1	酒造大学修了生	人	計画	30.00	30.00	
			実績	26.00	20.00	
2	長期訓練科目数	件	計画	4.00	4.00	
			実績	4.00	4.00	
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	R03	R04	R05
1	花巻市内の杜氏資格選考試験合格者数	人	目標	1.00	1.00	
			実績	0.00	0.00	
2	長期訓練受講生	人	目標	20.00	15.00	
			実績	13.00	14.00	
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		○	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
酒造技術の育成、継承及び研鑽に係る酒造大学や夏季酒造講習会を継続して実施してきたが、杜氏資格選考試験合格者8名のうち、花巻市在住者はいなかった。花巻高等職業訓練校の長期訓練受講生については、コロナ禍の影響は弱まったものの、市内企業の人手不足の問題の影響により、目標値にやや達しなかった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	伝統的に継承されてきた日本酒の醸造技術の確保と継承者育成のため、また、ものづくりの基礎となる重要な分野での職業訓練であることから、市の関与が必要である。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	優れた南部杜氏の技術を継続的にPRし、後継者を発掘する。また、時代のニーズを注視し、職業科目を見直していくことで、訓練生の増加を見込める。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	技能職の確保・育成の観点から現行の補助金水準の維持が必要であり、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	○ どちらも削減余地がない	
	受益と負担の適正化余地	補助金の他は、会員の会費、事業主負担金で運営されており、受益機会は均等である。
	受益機会の見直し余地がある	
費用負担の見直し余地がある		
総合評価	○ 適正である	
	今年度の振り返り	南部杜氏協会への事業補助金交付や育成事業に対する支援によって、南部杜氏の酒造技術の確保と後継者育成を図られた。花巻高等職業訓練協会に対する事業補助金の交付や、施設修繕に係る支援による訓練環境の整備により、職業能力の開発、技能人材の育成が図られた。
次年度に向けて	花巻市在住者で杜氏資格選考試験合格者を輩出するため、南部杜氏協会への支援を通じて酒造技術の育成・継承を図る。花巻高等職業訓練協会に対しては継続し事業補助金を交付し、今後の受講生増加のため市HP等を活用し、積極的に市内事業所に周知していく。	

令和4年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	05	01	02	154050	職業人材育成事業費	
総合計画	分野	01	しごと	政策	06 雇用環境の充実	
	施策	01	職業人材の育成			
目的	市内高校生、大学生等の地元企業への就業定着率の向上を図るため、関係機関等の連携体制を構築し、就業促進・定着促進事業を実施する。					
対象	求職者、新規学卒者、高齢者、失業者					
意図	就業できる					
事業概要	<p>○職業人材就業促進に向けた取組 1,496千円 高校生、専門学校生、大学生、その保護者及び教職員を対象とした事業所の紹介動画を作製し、市ホームページへ動画の掲載及び市内高校にて動画上映会を実施</p> <p>○インターンシップ交通費の助成 287千円 市内企業へのインターンシップを独自に行う大学生等を対象に交通費、宿泊費を助成</p>					
市民参画の有無						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定	後援・協賛 <input type="radio"/> 補助・助成 <input type="radio"/> 委託 <input type="radio"/>	
活動指標		単位	区分	R03	R04	R05
1	市内事業所説明会等の開催	回	計画	2.00	2.00	
			実績	1.00	3.00	
2	インターンシップ促進助成金を活用し学生が訪問した市内事業所数	事業所	計画	10.00	10.00	
			実績	4.00	7.00	
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	R03	R04	R05
1	市内事業所説明会等参加者数	人	目標	250.00	250.00	
			実績	179.00	146.00	
2	インターンシップ促進助成金交付件数	件	目標	25.00	10.00	
			実績	4.00	23.00	
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度			目標値より高い		概ね目標値どおり <input type="radio"/>	目標値より低い <input type="radio"/>

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
<p>市内事業所説明会については、高校側が望む支援となるよう事業の実施方法や内容について打ち合わせを綿密に行ったうえで、市内高校3校での事業実施となった。参加者数については、就職希望生徒数が減少していることに加え、就職希望生徒のみの参加となった学校もあり、目標値に至らなかった。</p> <p>インターンシップ促進助成金については、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されたことに加え、市内事業所や学生や保護者への広報、メールマガジンによる周知により利用件数が目標値を大きく上回った。</p>		
目的妥当性	公共関与の妥当性	関係機関との連携体制を構築し、就業率・定着率の早期向上を図るためには、市の積極的な関与が必要である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	事業所や学校には参加しやすい環境を整え、参加者を増やすことで成果が向上する。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	必要最小限の経費としている。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	市内在住または市内事業所の就労者、市内事業所を希望する人、市内全事業所・高校・大学等を対象としていることから、受益機会は均等である。
	<input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	<input type="radio"/> 適正である	
	今年度の振り返り	<p>高校側のニーズを踏まえながら事業実施したことで、生徒や進路指導担当教員からは企業の魅力、職場の雰囲気、就職にあたっての心構えに触れることができたことなど高い評価を得た。また、人材不足が深刻な市内事業所に対しては、市内高校生とのマッチングの機会を創出することにより、必要な人材確保への後押しとなるよう支援を行うことができた。インターンシップ促進助成金については、感染防止策を講じながら積極的にインターンシップに参加する学生や受け入れ事業所の動きが活発化したことが起因し交付件数が増加した。</p>
次年度に向けて	<p>新型コロナウイルス感染症の第5類移行を受け、高校生や大学生を対象とした支援については、実施方法や内容について、学校側や学生が望む事業となるよう意見交換を図りながら取り組む。</p>	

令和4年度  
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	05	01	02	154120	失業者支援事業費
総合計画	分野	01	しごと	政策	06 雇用環境の充実
	施策	01	職業人材の育成		
目的	新型コロナウイルス感染症の影響により失業した方の生活を支援するため、見舞金を給付する。				
対象	新型コロナウイルス感染症の影響で事業主都合により失業した方				
意図	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業主都合により失業した方に対して見舞金を支給するもの。				
事業概要	○失業者生活見舞金 3,100千円 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業主都合により失業した方に対して一律に10万円の見舞金を給付				
市民参画の有無					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	○補助・助成
活動指標		単位	区分	R03	R04
1			計画		
			実績		
2			計画		
			実績		
3			計画		
			実績		
成果指標		単位	区分	R03	R04
1			目標		
			実績		
2			目標		
			実績		
3			目標		
			実績		
成果指標の達成度	-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-
					目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
扶助費であることから、成果指標を設定しなかった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	新型コロナウイルス感染症の影響により失業した方の、再就職までの生活を支援する必要がある。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	再就職までのつなぎの資金としていただくことで、心に余裕を持った就職活動が可能となる。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	必要最小限の見舞金であり、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	○ どちらも削減余地がない	
	受益と負担の適正化余地	市民のうち事業主都合で解雇または雇止めとなった方を対象としており、要件を満たす方であれば誰もが制度を活用することができるため、受益機会は均等である。
	受益機会の見直し余地がある	
費用負担の見直し余地がある		
総合評価	○ 適正である	
	今年度の振り返り	新型コロナウイルス感染症の影響により失業した方に対し見舞金を支給することで、再就職までの生活支援が図られた。
次年度に向けて	令和4年度で事業終了（申請に必要な書類等の提出が年度を越えるため、経費の一部を翌年度に繰り越し）。	

令和4年度  
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	05	01	02	154140	職業人材確保対策事業費		
総合計画	分野	01	しごと	政策	06 雇用環境の充実		
	施策	01	職業人材の育成				
目的	市内企業の人材確保を図るため、採用力向上及び魅力向上に資する支援を行う。						
対象	市内企業						
意図	市内企業の人材確保が図られる						
事業概要	○市内企業の人材確保促進に向けた取組 1,266千円 市内企業を対象とした自社の採用力向上や魅力向上を図るためのセミナーを開催 ○市内企業検索サイト制作 2,382千円 市内企業の情報発信力向上及び求職者の情報収集ツールとして、市内企業検索サイトを制作						
市民参画の有無	対象外						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標			単位	区分	R03	R04	R05
1	セミナー開催回数	回	計画			5.00	
			実績			7.00	
2			計画				
			実績				
3			計画				
			実績				
成果指標			単位	区分	R03	R04	R05
1	企業検索サイトに登録した市内企業数	社	目標			120.00	
			実績			99.00	
2			目標				
			実績				
3			目標				
			実績				
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		○ 目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）	
市内に就職を希望する学生や保護者、進路指導担当教員に市内企業への関心を高めてもらうため、市内企業を幅広く検索できるポータルサイトを新たに開設し、多くの市内企業に本サイトへの登録を呼びかけたが、仮登録から本登録までの作業に時間を要する事業所があり目標値に達しなかった。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である
今年度の振り返り	市内企業における深刻な人手不足の課題に対応するため市内企業向けに採用力向上を図ることをテーマにセミナーを開催し、自社の職場環境の見直しや魅力を高める情報発信に関する意識啓発を図った。また、企業検索サイトについては、市内企業の人材確保の後押しとなるよう、ジョブカフェはなまきと連携して登録に向けてのサポートや周知に努めたほか、学生などの求職者に対しては、広報はなまきで特集ページを掲載し、本サイトの活用を呼びかけた。
総合評価	市内企業では、製造業や建設業、宿泊・飲食サービス業など多様な業種で人手不足が依然として続いており、人材確保の後押しとなるよう、採用ターゲットを明確にしたセミナーを開催するとともに、企業検索サイトへの登録を積極的に呼びかける。
次年度に向けて	